

生活指導だより

2014. 7. 11 (金)
岸和田市立八木南小学校
校長 森岡 優作
生活指導委員会

ケータイ・スマホについて考える

来週 16 日 (水) に 6 年生を対象に「ケータイ安全教室」を実施します。現在八木南小学校でも 6 年生になるとケータイを持つ児童が増加してきます。もちろん便利な面はたくさんありますが、最近では『ガラケー』から『スマホ』へと変化し、今まで以上にトラブルが増えています。

以前はこのような約束をしてケータイを購入するようにお伝えしてきました。

- ①利用時間は 1 日 1 時間
- ②食事中、勉強中、入浴中は利用しない
- ③ケータイのフィルタリングは外さない
- ④ネットへのアクセスは家族のいるリビングでする。
- ⑤夜 9 時以降は、家族のいるリビングのケータイ置き場に置く
- ⑥利用料金は 1 ヶ月 3000 円以内にする。

ところがガラケーからスマホに変化していくと、メールだけでなく、SNS (ツイッター、facebook、ライン) の使用が増えたり、オンライン無料ゲームをする子どもが増えてきました。中にはスマホは持っていないけれど、WIFI の繋がる場所で DS を持って通信ゲームをしていたり、ラインをしています。保護者の方はご存知でしょうか？

特にラインでは既読機能があるため、メッセージを確認したのに返事を返さないと、仲間はずれにされたり、夜遅くにもスマホを持ちながら眠い目をこすっている子どもがいるようです。岸和田市内の学校でも次のようなトラブルが多く発生しています。

- ラインや携帯ゲームをやり続け、依存症になる。
- ツイッターなどで、他人になりすまして書き込むトラブルがある
- スマホで撮った写真や動画、人の嫌がる画像を勝手にサイトにアップするトラブルがある。

こういった被害を防ぐために現在では次のような約束があります。一度ご家庭で考えてみましょう。

『初めてのスマホ親子 18 の約束』

- ①これは家族のスマホ。親が買って、親が毎月の支払いをし、親から貸してもらっていることを常に忘れない
- ②パスワードは必ず親に教える
- ③親からの電話は必ず出る
- ④電源を入れるのは朝〇時～夜〇時（親子で話し合おう）
- ⑤学校へ持って行くのはだめ
- ⑥落として壊したり、紛失したら弁償、修理するためのお小遣いをためておこう
- ⑦スマホで人を騙したり、バカにしたり傷つけるような会話には入らない
- ⑧人の悪口をメッセージに絶対に書かない
- ⑨面と向かって言えないことはメールでもラインでもしない。
- ⑩相手の親に言えないことはメールしない。自分を守るために自ら厳しくチェックする
- ⑪インターネットは親と一緒に見られる内容のみ見る
- ⑫公共の場では電源を切るかマナーモードにする
- ⑬自分の写真を送ったり、人の写真を受け取ったりしない
- ⑭写真やビデオに撮るよりも体験そのものを大切にする
- ⑮スマホなしの生活もできるよう、家に置いて行く日も作る
- ⑯携帯ゲームやラインのやり過ぎで依存症にならないようにする
- ⑰常にスマホを見るのでなく、周りの出来事にも目を向け、人の目を見て会話し自然を五感で感じて、感動できることを探す。
- ⑱約束を破ったらスマホを親に返す。親子で話し合い、一からやり直し、一緒に学んでいく

いかがでしょうか。こんな使い方が出来れば SNS でのトラブルなど起きないと思います。

